

事務作業の注意点および負担軽減

- 活動計画書（計画内容）
 - ・活動項目の選択

- 実施状況報告書
 - ・領収書やレシートの添付
 - ・日当に対する支払い処理
 - ・立替えの受領処理
 - ・活動記録

- その他
 - ・構成員について
 - ・日当等について
 - ・事務担当について

令和8年10月15日（木）

農村まると保全技術研修会

一般社団法人 農村まるとサポート

・活動項目の選択について

農地維持（全組織対象） 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

4) 2) で選んだ内容に取り組むため、毎年実践する活動を17～23から1項目以上選んでください。

☐	17. 入り作農家や土地持ち非農家を含む 農業者の検討会の開催	☐	21. 地域住民等に対する意向調査、地 域住民等との集落内調査
☐	18. 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査	☐	22. 有識者等による研修会、検討会の開催
☐	19. 不在村地主との連絡体制の整備、調整等	☐	23. その他
☐	20. 集落外の住民・組織や地域住民との意見交 換・ワークショップ・交流会の開催		

上記17番～23番で選択した内容について
毎年度、話し合いを行っていただき
活動期間（5年間）に1回
地域資源保全管理構想の書類提出が必要となります。

オススメ

17番が取り組みやすく
総会とあわせて実施しやすいかと思います。

・活動項目の選択について

資源向上（対象組織）実践活動選択

下記2項目の違い、自治会活動との注意点

45 植栽等の景観形成活動（景観形成・生活環境保全）

※花壇、プランター、遊休農地での景観活動 等



【45番・46番の活動に関するご注意】

本活動は、農地周辺や農業施設での活動が対象となります。
まると組織と地域の皆様で
連携・協働して取り組んでいただきたい活動ですが、
集落内での一般活動（公民館・公園・お寺の掃除など）は
対象外となりますのでご注意ください。

46 施設等の定期的な巡回点検・清掃（景観形成・生活環境保全）

※農業施設の清掃活動。地域清掃とあわせて可能

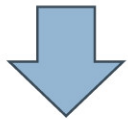


・活動項目の選択について

資源向上（対象組織）実践活動選択

下記活動注意点

- 51 啓発・普及活動
- 60 広報活動・農村関係人口の拡大（中山間地不要）の違い



- 51 地域内に向けて
- 60 地域外に向けて このすみ分けをしてください。

例 わかりやすく取組みやすい内容

- 51 自治会へのチラシ
- 60 景観活動等の看板設置（地域外の方にわかるように）

- 51 景観活動等の看板設置（地域内の方にわかるように）
- 60 景観活動等の看板設置（地域外の方にわかるように）
- ※51と60で内容・設置場所かえる



看板には
組織名、活動内容を記載してください



オススメ



・領収書やレシートの添付について

多面的事業では、どちらをご添付いただいても問題ありませんが、より詳細が確認できるレシートの添付がおすすめです。

宛名 活動組織の正式名称（略称NG）
領収書番号
領収日（当該年度の4月1日～3月31日）

領 収 証

令和 年 月 日

〇〇〇組織様

¥

但

上記正に領収いたしました。

収入印紙

内 消費税等

日付、店名
品名、規格、単価、購入数量等
必ず記入してください

No.5

〇〇〇組織 No.5

リカーマウンテン

水口店

☎ 63-6645 営 10時-20時

<当店は年中無休で営業しています>

2025年05月17日 10:17 <022-02>

レジ担当:いいだ

\$おーいお茶600CS	*	
1,880 x 2コ		3,760
アクエリアスケース	*	2,820
\$ホ*カリスイットケース	*会	3,180
小計(税抜 8%)		9,760)
消費税等(8%)		¥780
合計		¥10,540
(税率 8%対象		¥10,540)
(内消費税等 8%		¥780)
お預り		¥11,000
お釣り		¥460
お買上点数	4点	

オススメ

・日当に対する支払い処理について

作業 報告

【作業人員 4 名・総時間 3 時間】

日時：	2025年 4月 1日	9 : 00 ~ 12 : 00	天候 晴
内 容	〇〇地内 農水道水路点検		
作業人氏名	Aさん Bさん Cさん Eさん		

作業 報告

【作業人員 4 名・総時間 2 時間】

日時：	2025年 5月 1日	8 : 00 ~ 10 : 00	天候 晴
内 容	〇〇地内 農水道水路点検		
作業人氏名	Bさん Dさん Eさん Fさん		

活動日ごとの処理

〇〇組織 代表〇〇 さま

令和7年4月1日 作業日当 3,000円

令和8年3月1日 受領しました

A

受領には
印またはサインが必要

なお、
受領者本人と確認できるサインが望ましい

・ 日当に対する支払い処理について

(組織名)		〇〇組織		最終受領日		年 月 日		オス	
日当整理帳				単価		1,000		円/時間	
氏 名	出役状況(作業時間)				作業 時間 計	日当	確認印 (印 または サイン)	受領日	
	月 日	4月1日	5月1日						
	開始時刻	9：00～	8：00～						
	作業 内容	農道水路 点検	〇〇農道 草刈り						
1	Aさん		3.0		3.0	3,000 円	A	3/1	
2	Bさん		3.0	2.0	5.0	5,000 円	B		
3	Cさん		3.0		3.0	3,000 円	受領には 印またはサインが必 できればサインが望		
4	Dさん			2.0	2.0	2,000 円			
5	Eさん		3.0	2.0	5.0	5,000 円			
6	Fさん			2.0	2.0	2,000 円			

オススメ

全てまとめて処理
一覧表にすることで把握しやすい

受領には
印またはサインが必要
できればサインが望ましい

・立替えの受領処理について

(例) 金銭出納簿の交付金交付前にまとまった活動資金を立て替えて会計口座に繰り入れた場合

- ・繰入時：収入欄に立替額を記載
- ・返済時：収入欄に返済額をマイナスで計上（一時的な立替が収入及び支出の合計額に計上されないようにするため。）

日付	分類	内 容	区分	収入 (円)	支出 (円)	残高 (円)	領収書等番号	活動実施日	備考
4/20	3.利子等	構成員立替金の繰入	1	120,000		420,000	1		〇〇氏より
..	...	...	..	...					
6/25	3.利子等	構成員立替金の返済	1	▲ 120,000		300,000	5		〇〇氏へ

どちらも
収入欄に入力

領収書 例 ↓自治会（構成員）から借りた時

No. 1	
借 用 書	
〇〇町自治会 会長 〇〇 〇〇 様	
金120,000円	
上記金額、〇〇まると活動資金として確かに借用しました。	
返済期限 令和 8年3月31日	
令和 7年 4月 20日	△△まると保全会 代表 △△ △△
	印

立替時は
このような領収書も
作成しておきましょう

↓自治会（構成員）へ返済した時

No. 5	
領 収 書	
△△まると保全会 代表 △△ △△ 様	
金120,000円	
上記金額、借入金の返金として確かに領収しました。	
令和 7年 6月 25日	
	〇〇町自治会 会長 〇〇 〇〇
	印

・事務担当について

農林水産省HP 広域化資料引用

事務局体制の検討

- ・広域活動組織では、複雑で負担の大きい事務を円滑に行うために事務局を設置し、事務作業を集落等から切り離すことで、集落等は活動に専念でき、活動の活性化が期待できる
- ・事務局に専任の事務員を置き、対価を払って事務作業を依頼するには、次のような方法がある

ア. 構成員による対応

- ・市町や土地改良区職員OBなど適切な事務処理能力のある方に依頼

イ. 雇用

- ・事務員が対応しなければならない業務量があり、費用面で外部委託より合理的な場合は、事務員の雇用が可能

ウ. 外部委託

- ・土地改良区やJA等事務処理能力のある外部団体や個人に委託契約

事務局の業務内容（例）

- ・申請等書類作成
- ・金銭出納簿や活動記録等の整理
- ・交付金の管理
- ・外部委託に係る発注等手続
- ・集落間、行政との連絡調整



(Q2) 活動組織の行う事務を土地改良区等に委託できるのでしょうか。

- (A) 活動組織が行う本交付金に係る経理や活動記録の整理等の事務については、JA、土地改良区、農業生産法人等の団体や、地方公共団体、農業団体の職員OB等の当該事務処理を適切に行える者に委託することができます。

以上

別紙資料1

3. 活動の計画

例 活動計画書(活動期間(5年)当初作成書類)

(1) 農地維持支払

※毎年度実施するものに○を記入してください。

活動区分	活動項目	計画
点検・ 計画策定	1 点検	○
	2 年度活動計画の策定	○
研修	3 事務・組織運営等に関する研修、 機械の安全使用に関する研修	5年間に各1回以上実施
実践 活動	農 4 遊休農地発生防止のための保全管理	○
	用 5 畦畔・法面・防風林の草刈り	○
	地 6 鳥獣害防護柵等の保守管理	点検結果に応じて実施
	水路 7 水路の草刈り	○
	8 水路の泥上げ	○
	9 水路附帯施設の保守管理	点検結果に応じて実施
	農道 10 農道の草刈り	○
	11 農道側溝の泥上げ	点検結果に応じて実施
	12 路面の維持	点検結果に応じて実施
	ため池 13 ため池の草刈り	○
	14 ため池の泥上げ	点検結果に応じて実施
	15 ため池附帯施設の保守管理	点検結果に応じて実施
	共通 16 異常気象時の対応	洪水、台風、地震等の発生後に実施
地域資源の適切な保全管理のための推進活動		○

地域資源の適切な保全管理のための推進活動について、1)～4)を記入してください。

1) 保全管理の目標を①～⑥から選んでください。(複数選択可)

☐ ①中心経営体との役割分担による保全管理	☐ ④集落間連携や広域的活動による保全管理
☐ ②集落営農組織を基礎とした地域ぐるみの保全管理	☐ ⑤多様な地域資源管理の担い手による保全管理
☐ ③地域外の経営体との協力・役割分担による保全管理	☐ ⑥その他

2) 今後、地域で取り組んでいくべき保全管理の内容を①～⑤から1項目以上選んでください。

☐ ①農地の利用集積に伴う管理作業	☐ ④共同利用施設の保全管理
☐ ②高齢農家の農用地に係る管理作業	☐ ⑤その他
☐ ③不在村地主等の遊休農地に係る管理作業	

3) 2) で選んだ内容に取り組むため、今後進めていく活動の方向性を①～⑦から1項目以上選んでください。

☐ ①担い手の人材・機材の有効活用、連携強化	☐ ⑤不在村地主との連絡・調整体制の構築
☐ ②入り作等の近隣の担い手との協力	☐ ⑥集落間の連携や広域的な活動
☐ ③地域住民、土地持ち非農家等を含めた体制づくり	☐ ⑦その他
☐ ④新たな保全管理の担い手の確保	

4) 2) で選んだ内容に取り組むため、毎年実践する活動を17～23から1項目以上選んでください。

☐ 17. 入り作農家や土地持ち非農家を含む 農業者の検討会の開催	☐ 21. 地域住民等に対する意向調査、地 域住民等との集落内調査
☐ 18. 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査	☐ 22. 有識者等による研修会、検討会の開催
☐ 19. 不在村地主との連絡体制の整備、調整等	☐ 23. その他
☐ 20. 集落外の住民・組織や地域住民との意見交 換・ワークショップ・交流会の開催	

別紙資料2

(2) 資源向上支払（共同）

資源向上に取り組む場合は下記も記入

1) 施設の軽微な補修、農村環境保全活動

※毎年度実施するものに○を記入してください。

活動区分		活動項目	計画
施設の軽微な補修	機能診断・策定	24 農用地の機能診断	○
		25 水路の機能診断	○
		26 農道の機能診断	○
		27 ため池の機能診断	○
		28 年度活動計画の策定	○
	研修	29 機能診断・補修技術等に関する研修	5年間に1回以上実施
	実践活動	30 農用地の軽微な補修等	機能診断結果に応じて実施
		31 水路の軽微な補修等	機能診断結果に応じて実施
		32 農道の軽微な補修等	機能診断結果に応じて実施
		33 ため池の軽微な補修等	機能診断結果に応じて実施
農村環境保全活動	計画策定	34 生物多様性保全計画の策定	○
		35 水質保全計画、農地保全計画の策定	○
		36 景観形成計画、生活環境保全計画の策定	○
		37 水田貯留機能増進計画、地下水かん養活動計画の策定	
		38 資源循環計画の策定	
	実践活動	39 生物の生息状況の把握（生態系保全）	○
		42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）	○
		101 水田からの排水（濁水）管理（水質保全）	○
		45 植栽等の景観形成活動（景観形成・生活環境保全）	
		46 施設等の定期的な巡回点検・清掃（景観形成・生活環境保全）	
	啓発・普及	51 啓発・普及活動	○

「34」番と「35」番の取組は滋賀県では必須です。

生態系保全に関する活動の一つ以上選択する必要があります。

「42」番と「101」番の取組は滋賀県では必須です。

非農業者と一緒に景観活動の実施

非農業者と一緒に農道や水路の清掃作業

地域内に向けて、活動の宣伝

別紙資料3

2) 多面的機能の増進を図る活動（任意） ※毎年度実施するものに○を記入してください。

活動区分	活動項目	計画	
多 面 的 機 能 の 増 進 を 図 る 活 動	52 遊休農地の有効活用		生物活動「39」～「41」番（うち1つ）
	53 鳥獣被害防止対策及び環境改善活動の強化		
	54 地域住民による直営施工		
	55 防災・減災力の強化		水質活動「42」番「101」番を行うことで
	56 農村環境保全活動の幅広い展開	○	
	57 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用		←56が「○」になります。
	58 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化		
	58-2 広域活動組織における活動支援班による活動の実施		
	58-3 水管理を通じた環境負荷低減活動の強化	○	長期中干し活動等
	59 都道府県、市町村が特に認める活動		
	60 広報活動・農村関係人口の拡大	○	地域外に向けて、活動の宣伝

※増進を図る活動を実施する場合は、活動項目を選択した上で、毎年度実施するとともに、「60 広報活動・農村関係人口の拡大」を毎年度実施してください。
ただし、農業地域類型区分の「中間農業地域」または「山間農業地域」、地域振興立法8法地域においては「60 広報活動・農村関係人口の拡大」は必須ではありません。

「56 農村環境保全活動の幅広い展開」を選択した場合

「①農村環境保全活動を1テーマ追加」又は「②高度な保全活動の実施」のいずれかを選択し、実施する活動を選択してください。

①農村環境保全活動を1テーマ追加	☐	・・・追加する農村環境保全活動	生態系保全
②「高度な保全活動の実施」	☐	・・・高度な保全活動の活動項目	

「58-3 水管理を通じた環境負荷低減活動の強化」を選択した場合

実施する取組の実施予定面積を記入してください。

長期中干し	100 a
冬期湛水	0 a
夏期湛水	0 a
中干し延期	0 a
江の設置（作溝実施）	0 a
江の設置（作溝未実施）	0 a

「59 都道府県、市町村が特に認める活動」を選択した場合

具体的な活動内容を記載してください。

3. 地域資源保全管理構想の策定

(1) 地域資源保全管理構想とは

「地域資源保全管理構想」は、それぞれの地域で守ってきた農用地や水路、農道等の地域資源を、将来にわたってどのように引き継いでいけば良いのか、地域で話し合っていたき、構想としてまとめていただくものです。

具体的な記載内容としては以下のとおりであり、人・農地プランや市町村が定めるビジョン等で整理された農業振興や担い手の育成・確保の方向を踏まえ、話し合いを深めて作成します。

構想は、「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の成果を踏まえ、5年間の活動期間の最終年度までに、今後の目指すべき保全管理の姿やこの姿の実現に向けた活動・方策について取りまとめてください。

(別添)

〇〇地区地域資源保全管理構想
(〇年〇月作成)

1. 地域で保全管理していく農用地及び施設

- (1) 農用地
 - (2) 水路、農道、ため池
 - (3) その他施設等

・対象とする農用地、施設の範囲、数量、位置を記載する。

・「その他施設等」には、鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記載する。
2. 地域の共同活動で行う保全管理活動

- (1) 農用地について行う活動
 - (2) 水路、農道、ため池について行う活動
 - (3) その他施設について行う活動

・対象とする活動の範囲、内容を記載する。
3. 地域の共同活動の実施体制

- (1) 組織の構成員、意思決定方法
 - (2) 構成員の役割分担
 - ① 農用地について行う活動
 - ② 水路、農道、ため池について行う活動
 - ③ その他施設について行う活動

・担い手農家、それ以外の農家、土地持ち非農家、地域住民等の参画等を記載する。
4. 地域農業の担い手の育成・確保

- (1) 担い手農家の育成・確保
 - (2) 農地の利用集積

・人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。
5. 適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

・作成後5年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載する。

(取り組むべき活動・方策の例)

 - ・組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やNPO法人化
 - ・農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用
 - ・地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動
 - ・地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動
 - ・保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備

※ ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。

(2) 組織での話し合いの進め方

構想の策定に向けては、5年間の活動期間中に実施する推進活動等により、地域農業の将来のあり方について継続的に話し合いを積み重ねていく必要があります。

①話し合いの場の設定

- ・まずは、入り作農家を含めた農業者と土地持ち非農家を中心とした検討会を行います。
- ・その際、役員だけではなく、地域住民や女性、若手等の参加を求めることが重要です。
- ・また、できるだけ多くの方が出席できる日付や時間帯を考慮して設定します。
- ・進行役と発言要旨を記録する担当者をあらかじめ決めておきます。

②資料の準備

- ・議論の土台として、活動計画に位置付けている保全管理目標と推進活動の内容について資料として配布し周知します。保全対象施設の位置図や一覧表も準備しておきます。
- ・また、これまでの推進活動において検討会や意向調査等を実施している場合、それらの資料を準備します。
- ・人・農地プランや市町村が定めるビジョン等の抜粋があると、方向性の決定の際に参考になります。

③課題の抽出

- ・用意した資料を参考に、地域資源の保全管理を取り巻く状況やこれまで行った意向調査等の結果を踏まえ、地域における共同活動でどのような課題（施設の状態、作業体制、活動内容、年齢構成等）があるのかを参加者から発言してもらい、構想作成から5年程度を見通して想定される課題について議論し取りまとめます。

④課題解決に向け取り組むべき活動・方策の検討

- ・課題の解決に向けて取り組むべき活動・方策について検討します。
- ・検討の方向性を決める際の参考とするため、必要に応じて、推進活動として実施するアンケート調査とは別に、農業者や地域住民を対象とした意向調査等を実施します。
- ・取り組むべき活動・方策が決まったら、「地域資源保全管理構想」の案を取りまとめ、組織の総会等において構成員の合意を得ます。

(3) 地域資源保全管理構想の策定

(2)で検討した内容を所定の様式に取りまとめます。

別紙資料6

(様式第1-6号)

農林水産省様式

【活動組織から市町村】

組織名：

○○活動組織

例 活動記録（毎年度提出する報告書）

8 年度 多面的機能支払交付金 活動記録

★「実施時間」には休憩時間を含めます

活動番号の抜けがないよう参考になしてください

★「活動項目番号」欄には、実施要領別記1-2の国が定める活動指針における活動項目の番号及び要領第1の2の(1)に基づき都道府県が定める要綱基本方針において追加された活動項目の番号を記入します。その他、事務処理は200番、会議等は300番を記入します。

同一日に複数の活動を行った場合は、該当する全ての活動項目番号を左詰めで行に記入してください。番号欄が足りない場合は、複数行に分けて記入してください。

活動実施日及び活動時間
 活動参加人数
 活動番号24番以上は
資源向上に取り組む場合
 活動内容
 備考（具体的な活動内容を記入）

日付	活動時間	農業者	農業者以外	総参加人数	活動項目番号（左詰め）						支払区分	活動項目	備考（具体的な活動内容を記入）
4/2	2時間	5人	2人	7人	1	4	24	25	26	27	農地維持, 農地維持, 共同, 共同, 共同, 共同	1 点検, 4 遊休農地発生防止のための保全管理, 24 農用地の機能診断, 25 水路の機能診断, 26 農道の機能診断, 27 ため池の機能診断	各種点検および機能診断
4/4	4時間	8人	1人	9人	5	7	8	10	11		農地維持, 農地維持, 農地維持, 農地維持, 農地維持	5 畦畔・法面・防風林の草刈り, 7 水路の草刈り, 8 水路の泥上げ, 10 農道の草刈り, 11 農道側溝の泥上げ	〇〇農道、〇〇水路管理
4/5	1時間	3人			42	101	60				共同, 共同, 共同	42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）, 101 水田からの排水（濁水）管理（水質保全）, 60 広報活動・農村関	透視度調査（1回目）のぼり旗の設置
4/10	2時間	15人	2人	17人	2	17	28	34	35	36	農地維持, 農地維持, 共同, 共同, 共同, 共同	2 年度活動計画の策定, 17 農業者の検討会の開催, 28 年度活動計画の策定, 34 生物多様性保全計画の策定, 35 水質保全計画、農地保全計画の策定, 36 景観形成計画、生活環境保全計画の策定	総会 令和7年度の決算報告 令和8年度の活動計画策定 土地持ち非農家を含む農業者の検討会（地域資源保全管理構想）
4/15	1時間	3人		3人	200	300					-,-	200 事務処理, 300 会議	役員会議 計画書の作成
4/15	1時間	3人		3人	42	101					共同, 共同	42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）, 101 水田からの排水（濁水）管理（水質保全）	透視度調査（2回目）
4/26	1時間	3人		3人	42	101					共同, 共同	42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）, 101 水田からの排水（濁水）管理（水質保全）	透視度調査（3回目）
5/2	1時間	3人		3人	42	101	60				共同, 共同, 共同	42 水質モニタリングの実施・記録管理（水質保全）, 101 水田からの排水（濁水）管理（水質保全）, 60 広報活動・農村関	透視度調査（4回目）のぼり旗の回収
7/1	2時間	4人	3人	7人	39	56					共同, 共同	39 土物の土盛り状況の確認（生態系保全）, 56 農村環境保全活動の幅広い展開、3 事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修, 29 機能診断・補修技術等に関する研修	〇〇水路でのホテル観察2匹確認
10/15	2.5時間	2人		2人	3	29					農地維持, 共同	29 機能診断・補修技術等に関する研修	滋賀県まるごと研修会
11/4	1.5時間	2人		2人	31						共同	31 水路の軽微な補修等	〇〇水路補修 外注工事の立ち合い
11/15	2時間	4人	3人	7人	45	51					共同, 共同	45 植栽等の景観形成活動（景観形成・生活環境保全）, 51 啓発・普及活動	自治会との景観活動実施 〇〇農道にプランター 啓発用看板の設置

(続き)

【R7変更点】
・住所欄を削除しました。
・「活動支援班」の班員欄を作成しました。

設立総会の開催等により、活動組織に参加することについて、構成員の了解を得てください。

(規約別紙)

〇年〇月〇日

農林水産環境保全団体構成員一覧

以下3. の構成員は、農林水産環境保全団体へ参加するとともに、活動組織の代表、役員を下記1.、2. のとおり定めます。

1. 代表

役職名	氏名	備考	活動支援班員
代表	環境 花子		

2. 役員

役職名	氏名	備考	活動支援班員
副代表	多面 花子	〇〇集落	○
書記	多面 次郎	〇〇自治会	○
会計	〇〇 〇〇		
監査役	〇〇 〇〇		

3. 構成員

★分類欄は「分類番号リスト」より番号を選択してください。

★団体の場合は代表者名を記入してください。

(1) 〇〇集落

① 農業者の個人または団体（「農業者」は、活動計画書に位置付けられている農用地において耕作又は養畜の業務を営む農業者又は団体。）

分類	氏名	備考	活動支援班員
1. 農業者個人	〇〇 〇〇		
2. 農事組合法人	〇〇 〇〇		

この線より上に行を挿入してください。

② 農業者以外の個人

分類	氏名	備考
5. 農業者以外個人	〇〇 〇〇	

この線より上に行を挿入してください。

(3) 農業者以外の団体（代表者名のみ記載する。）

分類	氏名	備考
6. 自治会	会長 〇〇 〇〇	〇〇自治会
8. 子供会	会長 〇〇 〇〇	〇〇子供会

この線より上に行を挿入してください。

「役職名」欄には活動組織における役職名を記載します。

【R7変更点】
「活動支援班」を設置している場合、活動支援班のメンバーになっている構成員の「活動支援班員」欄に「○」を記入します。

「備考」欄には、所属する集落や団体名を記載します。

役員が団体に所属する場合は、「備考」欄に3の(3)と同じ団体名を記載します。

「分類」欄には下図の分類番号リストから番号と分類名を記載します(手書きの場合は、分類名は省略が可能です)。

農業者				農業者以外								
個人として参加	団体として参加			個人として参加	団体として参加							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
農業者個人	農事組合法人	営農組合	その他の農業者団体	農業者以外個人	自治会	女性会	子供会	土地改良区	CA	学校 PTA	NPO	その他の農業者以外団体

団体の場合、「氏名」欄には、団体の代表者氏名及び団体における役職名を記載します。

参考様式

令和 年度 ○○活動組織
役員報酬及び日当等単価基準表

令和 年 月 日制定

役員報酬

代 表	円/年	
副代表	円/年	
書 記	円/年	
会 計	円/年	
監査役	円/年	

日当・リース 単価

作業日当	円/時間	
草刈機	円/時間	
軽トラ	円/時間	
ダンプ	円/時間	
ユンボ	円/時間	

日当等の単価を総会で決めましょう

また、単価は明確な理由がない限り、
5年間の活動期間中は単価を変えないようにお願い致します。